

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201943
事業所名	アバンセグループホームこころ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナ禍以前のような交流は難しい状況が続いているが、今年度は少しずつ緩和もあり、地域包括支援センター主催の「おでかけ広場」には毎月参加し、地域の人や地域の高齢者の方と交流している。日課の散歩時には、地域の方から声掛けがあったり、挨拶を交わしたりの変わらぬ交流がある。また、近隣の方からは季節野菜の到来物があるのも変わらぬ交流である。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) コロナ禍で、この1年は6回全てを书面開催にしている。ホームの運営報告を基に資料を作成し、メンバーに配布している。また、返信用の用紙を同封し、意見や提案を募っている。寄せられた意見はホームで集約し、ホーム運営に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市の担当部署とは、ホームの運営に関わる報告・相談を通じ、指導・助言を仰ぎ、適切にホーム運営に反映させている。今年度は実地指導もあり、ますます適切な運営に力を入れている。地域包括支援センターとは変わらぬ連携があり、包括主催の「おでかけ広場」に参加する等、包括を窓口にした地域連携がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 家族とは、面会時や電話連絡時に直接意見や提案を聴取し、内容には真摯に向き合い検討している。コロナ禍の昨今、ホームのコロナ対応・対策に意見や質問、提案等が多く寄せられるようになっている。利用者を思う家族の心配に配慮し、その都度、最善の対応に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で、この1年は6回全てを书面開催にしている。
----------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								